

SONY 3-866-785-02 (1)*TV (1-3ch)・FMステレオ/AM PLLシンセサイザーラジオ*

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告
電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください

SRF-M806

Sony Corporation © 1999 Printed in Thailand

ラジオ

SRF-M806

主な特長

安定した受信ができる、PLLシンセサイザー採用のTV(1-3ch)・FM/AMポケットブルラジオ。

FM10局、AM5局、合わせて15局の放送局を記憶させること(プリセット)ができます。いったんプリセットしておけば、あとはプリセットボタンを押すだけでワンタッチ選局ができます。

自動的に放送局を受信する、オートスキャン選局。放送局を簡単に選局できます。

使用上のご注意

取り扱いについて

落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。

次のような場所には置かないでください。

－温度が非常に高い所(40 以上)や低い所(0 以下)。

－直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。

－風呂場など湿気の多い所。

－窓を開めきった自動車内(特に夏季)。ほこりの多い所。

ラジオ内部に液体や異物を入れないでください。

汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンは表面をいためますので使わないでください。

耳をあまり刺激しないように、適度の音量でお楽しみください。

このラジオのテレビ音声受信回路は、FM放送の受信回路と兼用であるため、一部の地域では、テレビ2、または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。

このときは、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気に変化して使えなくなることがあります。

ステレオイヤースピーカーをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めの使用を中止して医師またはお客様ご相談センターに相談してください。

イヤースピーカー（両耳用）で聞くときのご注意

イヤースピーカーは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。

雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、いつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

故障とお考えになる前に

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。それでも具合が悪いときはお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ボタンを押しても動作しない

→ホールド機能が働いている
HOLDボタンを押して、ホールド機能を解除する。

表示窓の文字や記号が薄くって見えない

→乾電池が消耗している
→極端に暑い場所や寒いところで使っている

雑音が多く、音が悪い

→乾電池が消耗している
→電波が弱い
建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓際でお聞きください。
→FMの場合、FM SENSスイッチがLOCALになっている
DXにしてください。

プリセットボタンを押しても、聞きたい放送局が受信できない

→間違った番号のプリセットボタンを押している
→プリセットした記憶が消えている
もう一度、プリセットボタンに局を記憶させてください。

自動選局できない

→電波が弱いところにいる
手動選局で受信してください。

主な仕様

周波数範囲		
バンド	周波数範囲	周波数ステップ
FM	76～108 MHz (TV1-3ch)	0.05 MHz
AM	531～1,710 kHz 530～1,710 kHz	9 kHz 10 kHz

スピーカー 直径3.6 cm、丸形 7.2 1個
出力端子 (Xヘッドホン)端子(φ3.5 mm ステレオミニジャック)
実用最大出力 70 mW(EIAJ*)
電源 DC 3 V、単4形乾電池2個
最大外形寸法 約60×104×21.5 mm(幅/高さ/厚さ)(EIAJ)
質量 約110 g(乾電池、イヤースピーカー含む)

*EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。

付属品

ステレオイヤースピーカー(1)
ソニー単4形乾電池(2)
取扱説明書・保証書(1)
ソニーご相談窓口のご案内(1)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

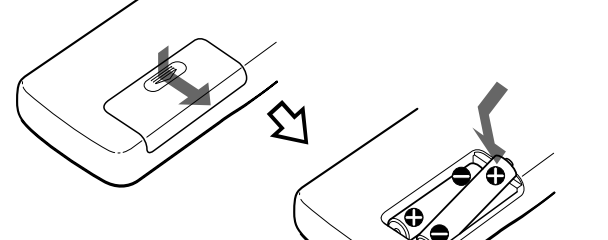
保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーサービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

▶準備する

乾電池を入れる



- 電池入れのふたを開ける。
- 乾電池を入れる。
初めて乾電池を入れると、表示窓に「AM12：00」が点滅します。点滅を止めるには、ENTER/CLOCKボタンを押します。時計を合わせるときは、「時計を合わせる」をご覧ください。

- ふたを閉める。

乾電池の持続時間ーソニー単4形(R03)マンガン乾電池使用時(EIAJ*)		
放送の種類	持続時間	
	ステレオイヤースピーカー使用時	スピーカー使用時
FM (TV 1-3ch)放送	約14時間	約9時間
AM放送	約20時間	約11時間

*EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。

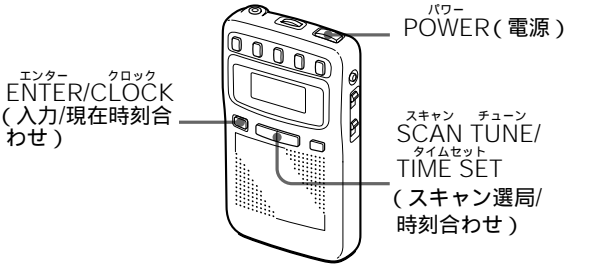
乾電池の交換時期

乾電池が消耗してくると、音が小さくなったりひずんだりします。また表示窓に「**□□□**」が点滅します。そのときは、2本とも新しい乾電池に交換してください。

交換するときは、電源を切ってから60秒以内に入れ換えてください。60秒以上経過すると、現在時刻やプリセットした局の記憶が消えてしまいます。そのときはもう一度設定し直してください。

「**□□□**」の点滅を消すには、POWERボタンを押します。

時計を合わせる



- POWERボタンを押して、ラジオの電源を切る。
- ENTER/CLOCKボタンを押しながら、SCAN TUNE/TIME SET +または-ボタンを押して、時刻を合わせる。
+ボタンを押すと時刻が進み、-ボタンを押すと戻ります。押し続けると速く進みます。

- 時報(電話117番など)と同時に、ENTER/CLOCKボタンから指を離す。
表示窓の「：」が点滅を始め、時計が動き出します。

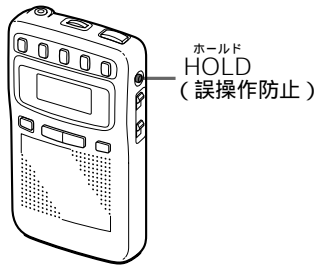
ⓘご注意


AMは午前、PMは午後です。


AM12:00 = 真夜中 PM12:00 = 正午

裏へつづく➡

誤操作を防ぐ—ホールド機能



電源が入っているときにHOLDボタンを押して表示窓に「」を点灯させます。すべてのボタン操作が受け付けられなくなり、不用意に電源が切れたり、受信局が切り換わるなどの誤操作を防ぐことができます。

ホールドを解除するには
HOLDボタンをもう一度押して表示窓の「」を消します。

海外でAM放送を受信するときは—周波数ステップ(間隔)の切り換え

このラジオは工場出荷時、AM 9 kHzの周波数間隔で受信するように設定されています。10 kHzステップで放送している地域でお使いになるときは、周波数ステップを切り換えてください。

地域	周波数ステップ
北米、南米の国々	10 kHz
その他の国々	9 kHz

1. POWERボタンを押してラジオの電源を切る。
2. ENTER/CLOCKボタンを押しながら、POWERボタンを約5秒以上押し続けたままにする。周波数ステップが切り換わります。元の周波数ステップに戻すには、手順2をもう一度行なってください。

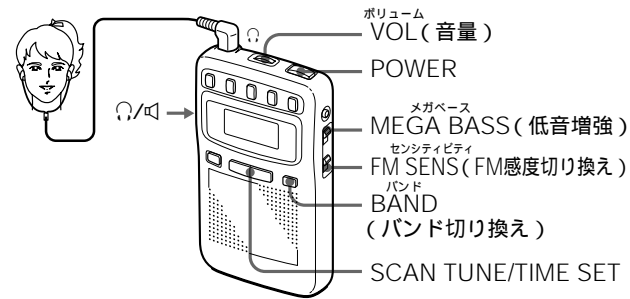
⚠️ ご注意








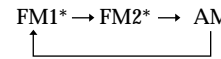
周波数ステップを切り換えると、プリセット番号に記憶しておいた放送局が消え、時計表示は初期状態に戻ります。

▶ ラジオを聞く

自動的に放送局を受信する—オートスキャン選局(自動選局)

自動的に放送局を受信して止まり、放送を聞くことができます。放送局を簡単に選局できます。



- 1 スtereoイヤーレシーバーで聞く場合、端子にステレオイヤーレシーバーをつなぐ。スピーカーでFM(TV1-3ch)放送を聞く場合もステレオイヤーレシーバーのコードがアンテナとして働くので、必ずステレオイヤーレシーバーをつないでください。
- 2 POWERボタンを押して、ラジオの電源を入れる。
- 3 /切換スイッチでまたはを選ぶ。に合わせるとステレオイヤーレシーバーから、に合わせるとスピーカーから音が聞こえます。
- 4 VOLつまみで音量を調節する。
- 5 BANDボタンを押してFM1、FM2 またはAMを選ぶ。押すたびにバンド表示が次のようになります。
FM1* → FM2* → AM

- 6 SCAN TUNE/TIME SETボタンを長めに押して離す。受信周波数が自動的に変わり始めます。+ボタンでは上がり始め、-ボタンでは下がり始めます。放送局を受信すると、放送が聞こえます。

TV(1-3ch)放送を聞くときは

FM放送でテレビの周波数を受信してください。オートスキャン選局でも受信できます。

チャンネル	周波数
1ch	95.75 MHz*
2ch	101.75 MHz*
3ch	107.75 MHz*

*周波数は0.05 MHz単位で変わりますが、表示は0.1 MHz単位で変わります。(例: 95.70 MHzのときも95.75 MHzのときも「95.7 MHz」と表示されます)

電波が弱く、聞きたい放送局で周波数が止まらないときは
- マニュアルスキャン選局(手動選局)
SCAN TUNE/TIME SET+または- ボタンを繰り返し押して、聞きたい周波数にします。

FM、TV(1-3)放送の雑音が多いときは
通常はFM SENSスイッチをDXにしておきます。電波が強く、雑音が気になるときはLOCALにします。

電源を切るときには
POWERボタンをもう1度押します。

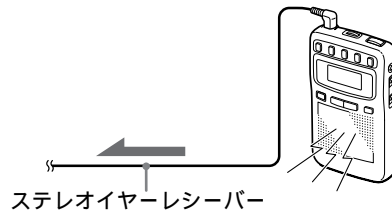
⚠️ ご注意

電波が弱い場所では、SCAN TUNE/TIME SETボタンを押しても放送局を受信されないことがあります。窓際など受信状態の良いところでもう一度行なってください。

受信状態を良くするには

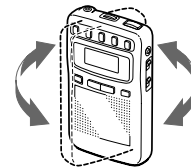
FM (TV 1-3ch) 放送の場合

ステレオイヤーレシーバーのコードがアンテナとして働きます。コードをできるだけ長く伸ばしてお使いください。FM(TV1-3ch)放送をスピーカーから聞く場合も、ステレオイヤーレシーバーのコードがアンテナとして働くので、必ずステレオイヤーレシーバーをつないでください。



AM放送の場合

AMアンテナは内蔵されているので、ラジオ本体の向きによって受信状態が変わります。最も良く受信できる向きにしてお聞きください。






低音を強調する

MEGA BASS(低音増強)スイッチをONにします。低音を強調しないときはOFFにします。音がはずんだように聞こえる場合はOFFにします。

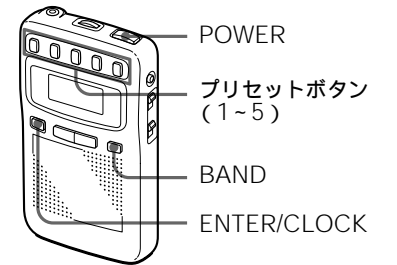


⚠️ ご注意

MEGA BASS機能は/スイッチがになっているときのみ働きます。

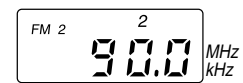
いつも聞く放送局を記憶させて聞く—プリセット選局

いつも聞く放送局をFM1、FM2に各5局とAMに5局、合わせて15局まで記憶させることができます。聞くときは、プリセットボタンを選ぶだけで受信できます。



- 1 電源を入れる。
- 2 BANDボタンを押して、バンドを選ぶ。FMの場合はFM1とFM2のどちらか記憶させたい方を選びます。
- 3 記憶させる放送局を受信する。
- 4 ENTER/CLOCKボタンを押しながら、記憶させたいプリセットボタン(1-5)を選んで押す。「ピピッ」という音がして、受信している周波数が記憶され、表示窓にプリセット番号が表示されます。

例)プリセットボタン「2」にFM2の90.0 MHzを記憶させたときの表示



記憶させたい放送局ごとに3-4の手順を繰り返します。FM1、FM2に各5局、AMに5局、記憶させることができます。

記憶させた放送局を変更するには
手順2からやり直してください。前に記憶させた放送局は消えます。

記憶させた局を聞くには

- 1 電源を入れる。
- 2 BANDボタンを押して聞きたいバンドを選ぶ。
- 3 聞きたい放送局を記憶させてあるプリセットボタン(1-5)を押す。
- 4 VOLつまみを回して音量を調節する。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35	
お問い合わせはお客ご相談センターへ	
● ナビダイヤル……………  0570-00-3311	受付時間： 月～金 9:00～20:00
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)	
● 携帯電話・PHSでのご利用は……… 03-5448-3311	土・日・祝日 9:00～17:00
● Fax …………… 0466-31-2595	